



しながわ

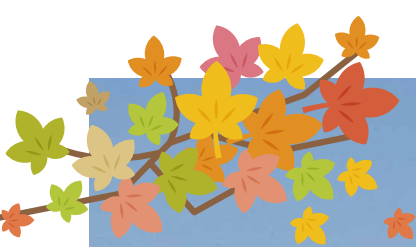
第68号

社会福祉法人 佳松会
令和5年5月1日発行

秋晴れの 不思議体験。



オータムフェスタ「サイエンスショー」



缶積みゲーム



オータムフェスタ



昨年10月24日、前年と同様に感染症対策の中での開催となりましたが、秋晴れの下保護者の皆さんは久方ぶりの来園で、他の保護者との歓談にも花が咲き、楽しいひとときを過ごしておられました。

特にサイエンスショーでは、舞台上に置かれた大きな箱にドライアイスみたいな煙を充満させ箱の両サイドをポンと押すと、正面の穴からリング状になった煙が10メートルくらい離れた観客席まで届き、利用者の皆さんも思わず首をすくめ「オー」と驚きの声を上げました。また、発光する2本の棒をぐるぐる高速で回すと文字や絵が浮かんで見えるなど普段では味わえない不思議な体験ができ、皆さんも楽しんでいただけたことと思います。

さらに、利用者、ご家族、職員が参加した缶積みゲームも「がんばれ～」などの声援で盛り上がりました。グループホーム利用者の暗記による古文(枕草子)の披露も素晴らしかったです。

最後は皆さんお楽しみ品のビンゴ大会。参加者全員がカードを持ち、数字を読み上げるたびに歓声とため息が交差し、当選した方は受賞を喜び、外れた方は悔しがったりと大賑わいでした。

皆さんのご協力のもと、とても楽しいオータムフェスタが開催できたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。



サイエンスショー

ポン!



ビンゴ大会



ビンゴ大会

お肉
ゲット!



クリスマス会

12月23日昼。新鮮な食材にチーフのアイデアが加わって自然と笑顔になる豪華なクリスマスランチ。特にスイーツは、チョコレートでできたカップに温かいチョコレートソースをかけるとバニラアイスとイチゴが出てくる演出があり、利用者の皆さんがそれを見てビックリ、頬張る姿を見てチーフもニヤリ!

昼食後は、ボランティアによる歌や手遊び、不思議に光るボールが宙を舞うように操る手品に目を奪われました。そして、鈴の音と共に陽気なサンタとトナカイが皆さんが楽しみにしていたプレゼントを届けてくれました。おやつにウサギさんが乗ったクリスマスケーキを食べ、笑顔いっぱいのクリスマス会が開催できてよかったです。

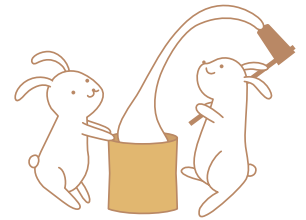
なお、今回もシャンメリーの差し入れをいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



忘年会

12月17日に忘年会を開催し、1年を振り返り来年こそはコロナに左右されない良い年であるようにと願いました。今回も橋本理事からお肉やウイナーをたくさん頂戴し、冷え切った身体を芯から温めるしゃぶしゃぶに調理していただき、美味しいお肉はあっという間になくなりました。

お腹を満たした午後からは、多目的ホールで臼を囲み、利用者の皆さんが順番に杵を持ち、ぺったん、ぺったんと。皆で「よいしょー!よいしょー!」と応援し、一致団結した声とリズムカルな音が響き渡る餅つきでした。完成したお餅は鏡餅としてお供えしました。





栄養士のささやき

今年5月から、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げの方針が示されました。感染当初は、ウイルスの正体が不明で3密をさけ、外出を自粛するなど生活が大きく変わり、施設の食事環境についても種々試行しました。中でも大きく変わったのがアクリル板の導入や出来る限り対面で座らないということでした。

今まで当たり前のようにできていたことができなくなることへの不安や葛藤の3年間でしたが、5月からはこの間に改められた生活様式に応じて引き続き安心安全な食事の提供に努めていきたいと思います。

成長と挑戦

今まで、当たり前のようにその場へ行き出でて人の繋がりが築けていたことが、コロナ禍のこの3年の間にICT(情報通信技術)の活用による会議(例えばZoom会議)の開催で、明確な意図を持って自分から繋がらなければならなくなった。意図を考える中で、入所型の施設として求められる基本や本質の大切さを改めて感じることもつながった。

いつのときも、「なぜそうするのか」「どうしたいのか」「どうやったらできるのか」と様々な角度から考えるようにしている。機械化されることで便利になり合理化されるならそれも拒まない。そこに「人」にしかできないことが見出されるからだ。この過程は他施設との専門性の違いを明確にし、「科長の郷らしさ」をより形づけていく。好循環の中で職員一人ひとりが誇り高くサービス提供に携われるよう体制作りを努めているところである。

コロナ禍で得た教訓

新型コロナのパンデミックから3年が経ちました。緊急事態宣言、不要不急の外出等の行動制限などを経て様々な生活様式が変容しました。科長の郷でも、外出制限や行事の中止や縮小する事になりました。

利用者の皆さんの生活も、緊急事態宣言のたびにルーティーンに制限が掛かり、多大なストレスや混乱を招く事になったと思います。そこで生活様式の変更はもちろん、皆さんが楽しみにされている行事を「無くす」のではなく、皆さんをグループ分けして行事や食事を豪華にする等楽しんでもらえるよう取り組んできました。

コロナ禍を経ての教訓は「これまでの活動をいかにできるように考えていくか」という事で、利用者の皆さんの生活を見直し、普段の生活に工夫を加える事で新たな発見をする事もできました。

5月には新型コロナ感染症を第5類に入れる方針が出され、コロナへの意識も変わってくると思います。こうした変化にも職員一同、利用者目線に立って、支援に取り組んでいきたいと思います。



ぽかぽか陽気で過ごしやすくなってきました。中庭テラスで昼寝をする利用者の皆さんを見て羨ましく思う今日この頃。弁当箱に好きな食べ物を飾り入れピクニック。みんなでワイワイBBQ・・・これからが楽しみです。

広報担当 松田

社会福祉法人 **佳松会**

<http://kashokai.jp/>

科長の郷

障害者支援施設(生活介護)

短期入所事業・日中一時支援事業

しながの舎

共同生活援助(グループホーム)

生活支援相談室しなが

基幹相談支援・計画相談支援

地域相談支援(地域移行・地域定着)・障害児相談支援

ホームページは
こちらから



篤志御礼<10月~3月>

敬称略・順不同

寄贈物品

上原秀夫、片山晃也、翠田収、古藤捷二、片山昌子、葉山保樹、岩田元夫、鳥羽幹雄、舌間章二、樽井修二、村上殷愛、三尾美津子、阪本正次、角田暁治、上田恭敏、大内茂博、田中唯晴、谷川孝子、上野佳代、望田昭博、橋本孝雄、中山崇、村上和也、笠原寿美恵、コンフィア、国際障害者年記念ナイスハート基金、わたなべ鍼灸整骨院、三栄基準寝具、なにわや、春日薬局、南大阪防災設備、奥田歯科医院、好月堂、太子町社会福祉協議会、テラカド、近畿環境サービス、肉の松阪、ライフステージスマヤ、チャイルド社

寄付金

上田美代子、坂上暢子、富田晶子、古藤捷二、猪倉厚、岩田元夫、米田昭、田中成彦、中山崇、科長の郷保護者会